

## 2. 定住意識

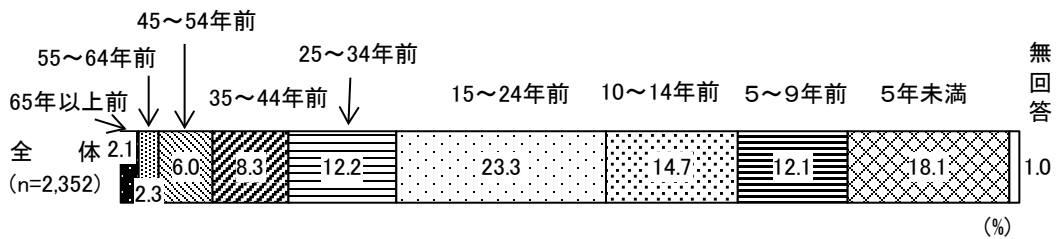
### (1) 現住地居住年数

問1 あなたは今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

#### 「5年未満」の居住者が2割近く

現住地居住年数については、「5年未満」(18.1%)が2割近くとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]



#### ①現住地居住年数 [区別]

##### 「5年未満」の居住者は中区で3割近く

区別にみると、居住年数「5年未満」は中区(27.9%)で3割近くと最も多くなっている。一方、「45年以上前」は西区(20.4%)で2割を超えて多い。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]



②現住地居住年数 [ライフステージ別]

「5年未満」の居住者は夫婦だけ(1)で7割を超える

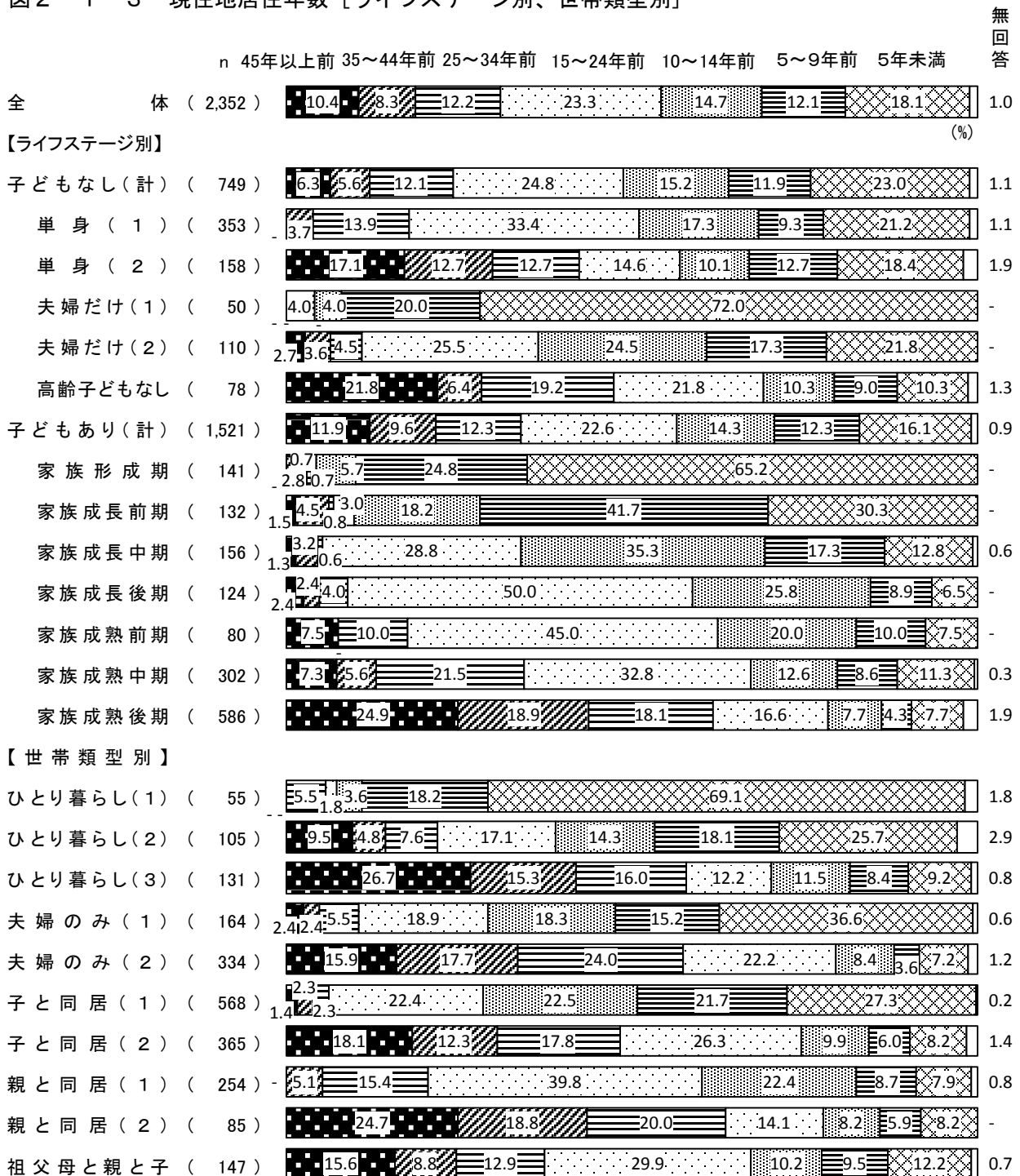
ライフステージ別にみると、居住年数「5年未満」は夫婦だけ(1) (72.0%)で7割を超え、家族形成期(65.2%)で6割半ばと多くなっている。

③現住地居住年数 [世帯類型別]

「5年未満」の居住者はひとり暮らし(1)で7割近く

世帯類型別にみると、居住年数「5年未満」はひとり暮らし(1) (69.1%)で7割近くと最も多くなっている。

図2-1-3 現住地居住年数 [ライフステージ別、世帯類型別]



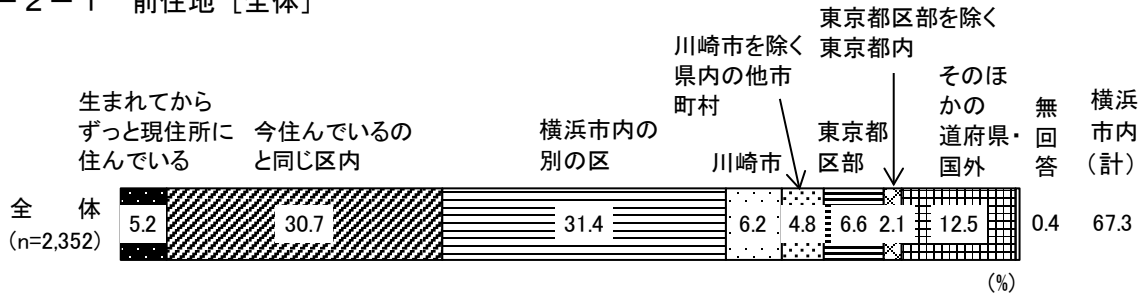
(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

現住所の直前に住んでいたところについては、「横浜市内の別の区」(31.4%)が3割を超えて最も多く、次いで「今住んでいるのと同じ区内」(30.7%)となっている。これらと「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(5.2%)を合わせた『横浜市内(計)』(67.3%)は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地 [全体]

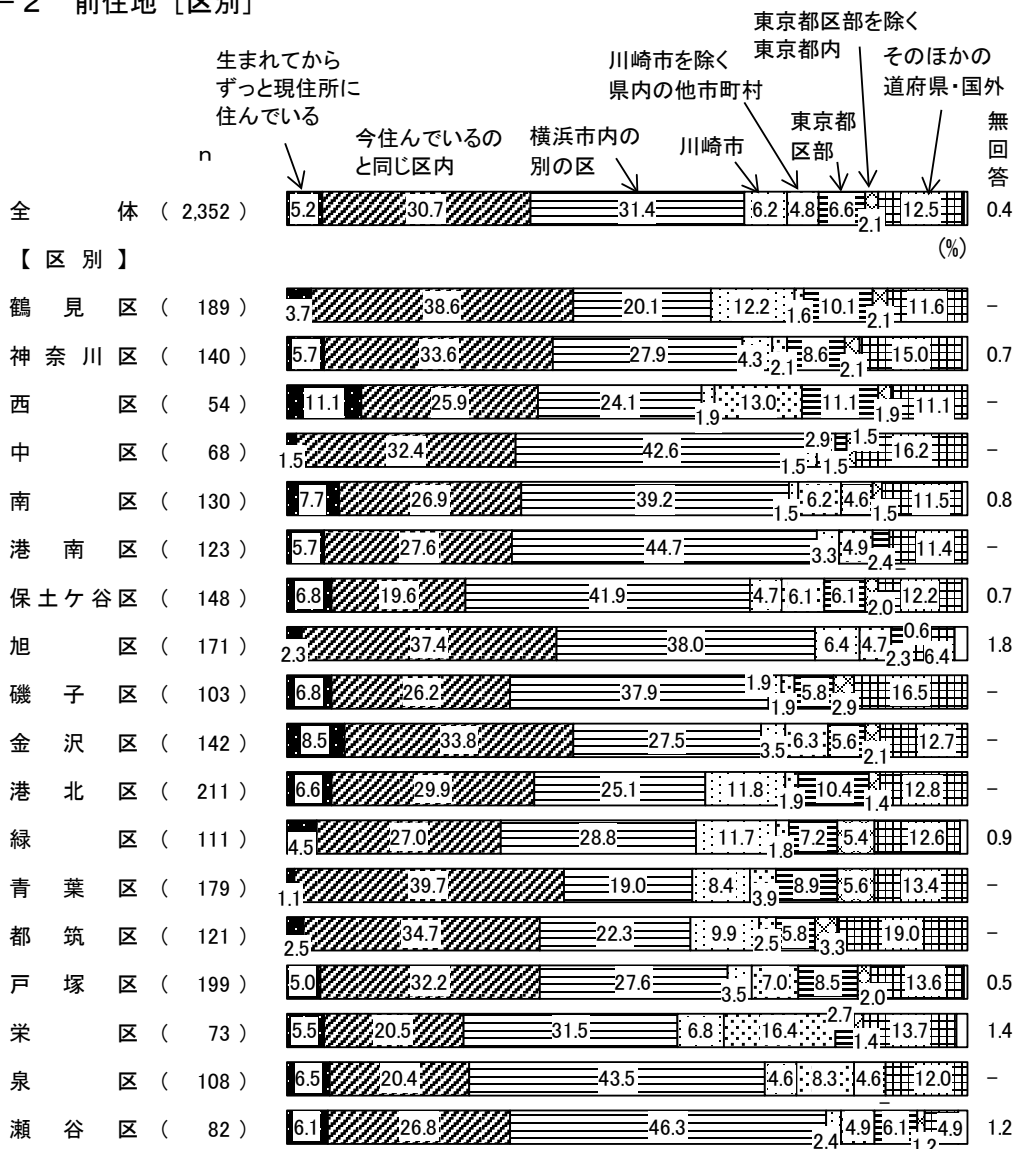


①前住地 [区別]

「横浜市内の別の区」は瀬谷区で4割半ば

区別にみると、「横浜市内の別の区」は、瀬谷区(46.3%)で4割半ばと最も多くなっている。

図2-2-2 前住地 [区別]



(3) 周辺環境の総合評価

問3 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(〇は1つ)

『暮らしやすい(計)』は8割近く

周辺環境の総合評価については、「暮らしやすい」(44.3%)と「どちらかという暮らしやすい」(34.9%)を合わせた『暮らしやすい(計)』(79.2%)は8割近くとなっている。

図2-3-1 周辺環境の総合評価[全体]

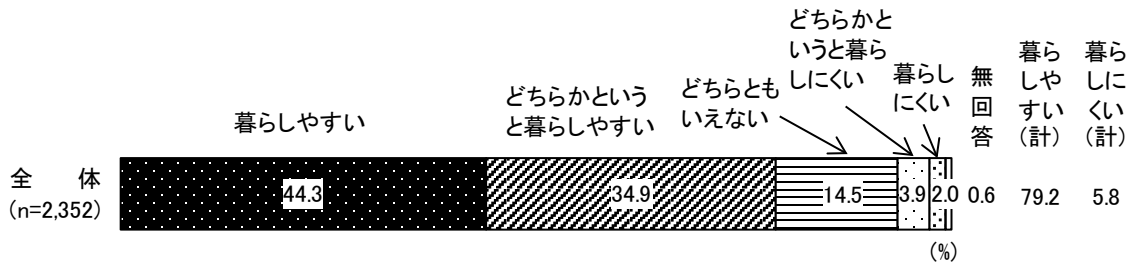
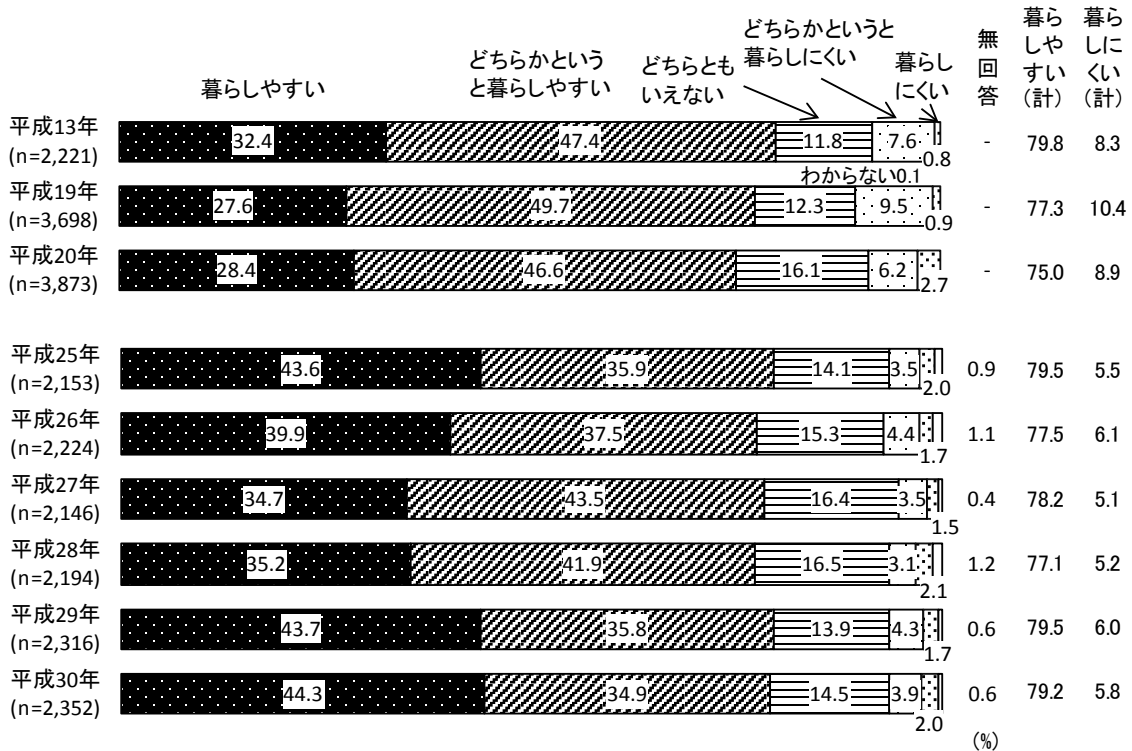


図2-3-2 周辺環境の総合評価[経年変化](参考)

『暮らしやすい(計)』は横ばい傾向

経年変化をみると、前回調査から『暮らしやすい(計)』は0.3ポイントの減少で、過去6年横ばい傾向が続いている。



(注1) 平成13年・平成19年調査は、設問文が「今お住まいの周辺の環境を暮らしやすいと感じていますか。」、平成20年調査は設問文が「あなたは今のお住まいの環境を暮らしやすいと感じていますか。」である。  
 (注2) 平成13年・平成19年調査は選択肢の一部が以下のように異なる。  
 「どちらかという暮らしやすい」→「まあ暮らしやすい」  
 「どちらかという暮らしにくい」→「あまり暮らしやすくない」  
 「暮らしにくい」→「まったく暮らしやすくない」  
 (注3) 平成13年調査では「わからない」の選択肢を加えている。

①周辺環境の総合評価 [ブロック別]

『暮らしやすい (計)』は北部で8割半ば

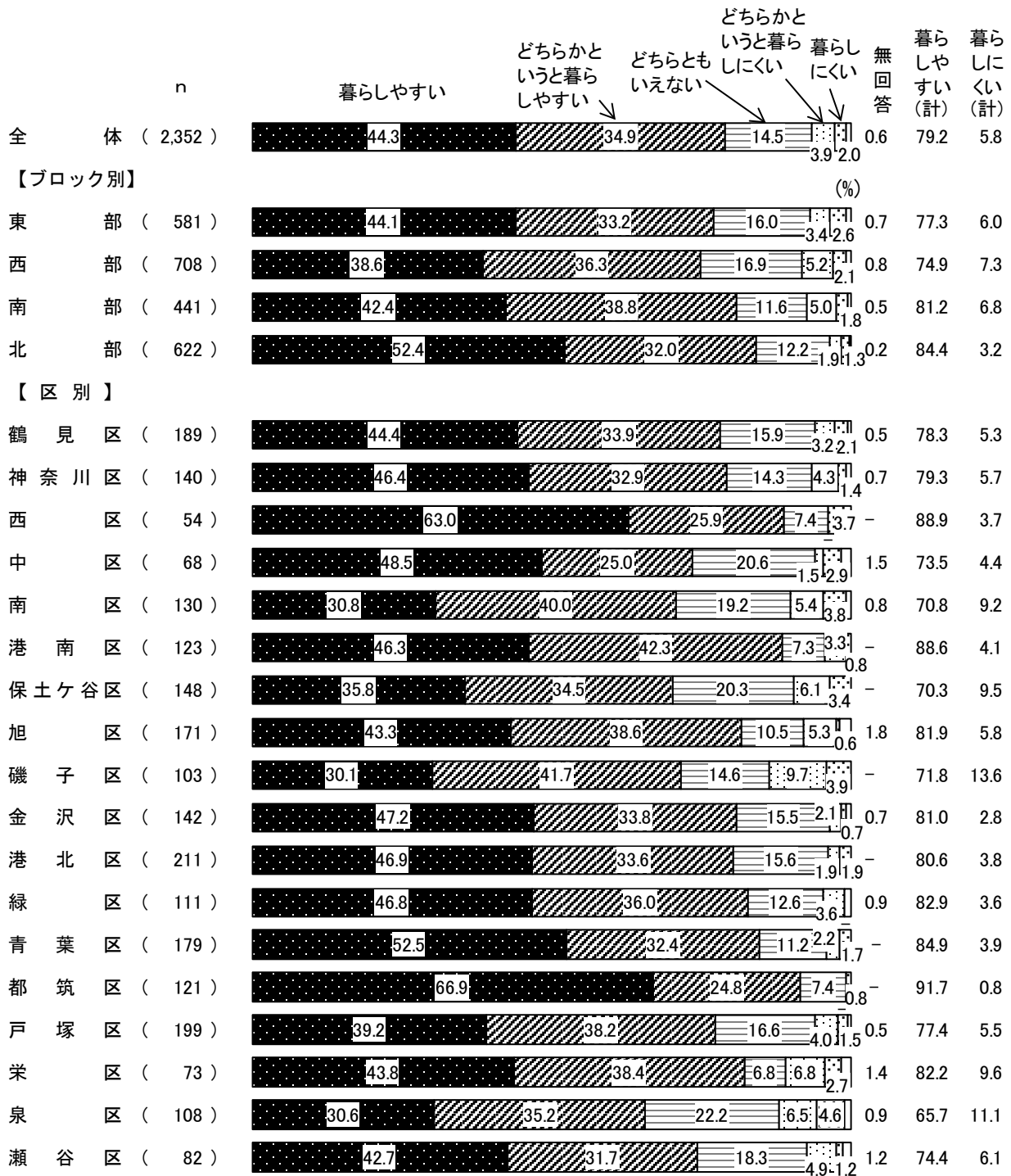
ブロック別にみると、『暮らしやすい (計)』は北部 (84.4%) で8割半ばと多くなっている。

②周辺環境の総合評価 [区別]

『暮らしやすい (計)』は都筑区で9割を超える

区別にみると、『暮らしやすい (計)』は都筑区 (91.7%) で9割を超えて最も多くなっている。一方、「暮らしにくい」と「どちらかという暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい (計)』は磯子区 (13.6%) で1割半ばとなっている。

図 2-3-3 周辺環境の総合評価 [ブロック別、区別]

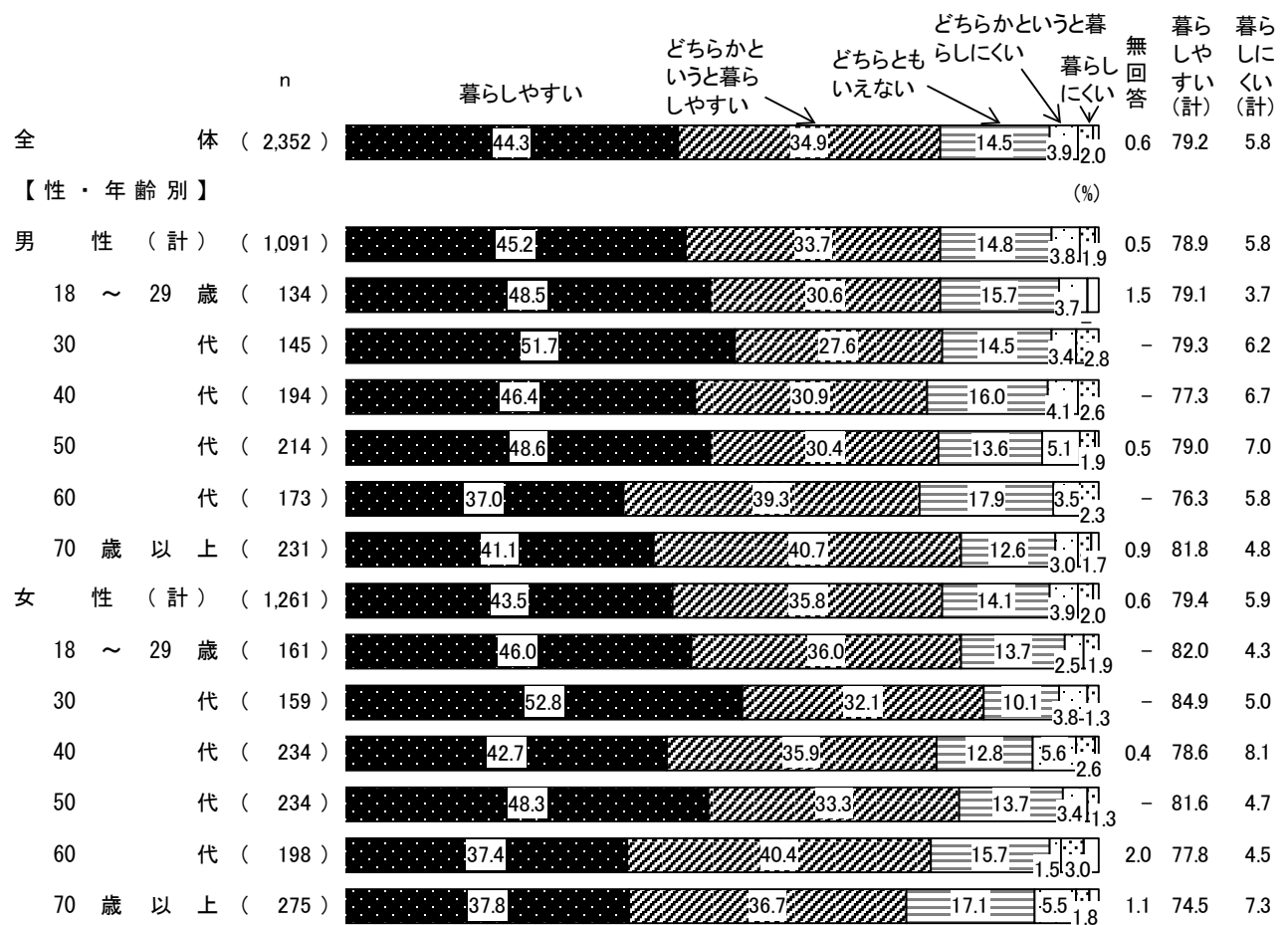


③周辺環境の総合評価 [性・年齢別]

『暮らしやすい(計)』は女性30代で8割半ば

性・年齢別にみると、『暮らしやすい(計)』は女性30代(84.9%)で8割半ばと最も多くなっている。また、「暮らしやすい」に限ると、女性30代(52.8%)、男性30代(51.7%)で5割を超えて多い。

図2-3-4 周辺環境の総合評価 [性・年齢別]



(4) 現住地定住意向

問4 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

『定住意向(計)』は6割を超える

現住地定住意向については、「住み続ける」(29.3%)と「たぶん住み続ける」(32.7%)を合わせた『定住意向(計)』(62.1%)は6割を超えている。

図2-4-1 現住地定住意向[全体]

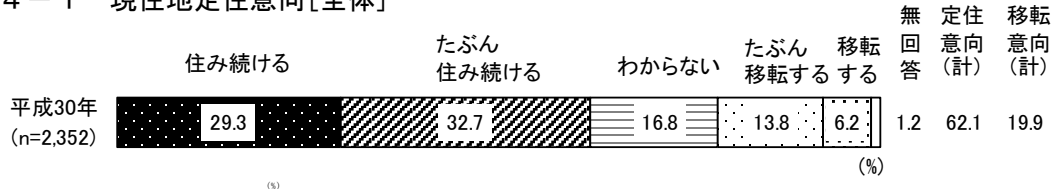
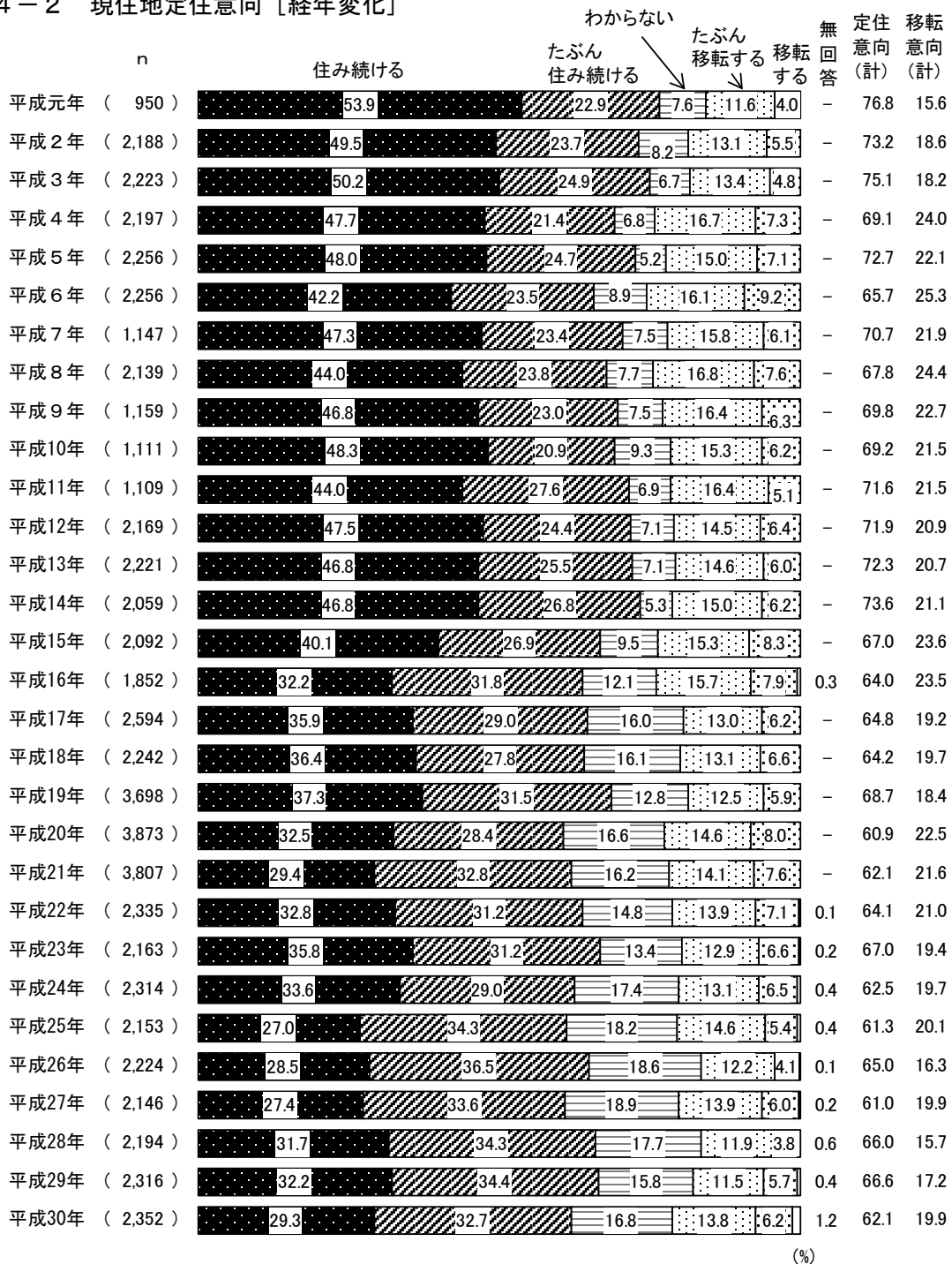


図2-4-2 現住地定住意向[経年変化]



①現住地定住意向 [ブロック別]

『移転意向 (計)』は北部で2割半ば

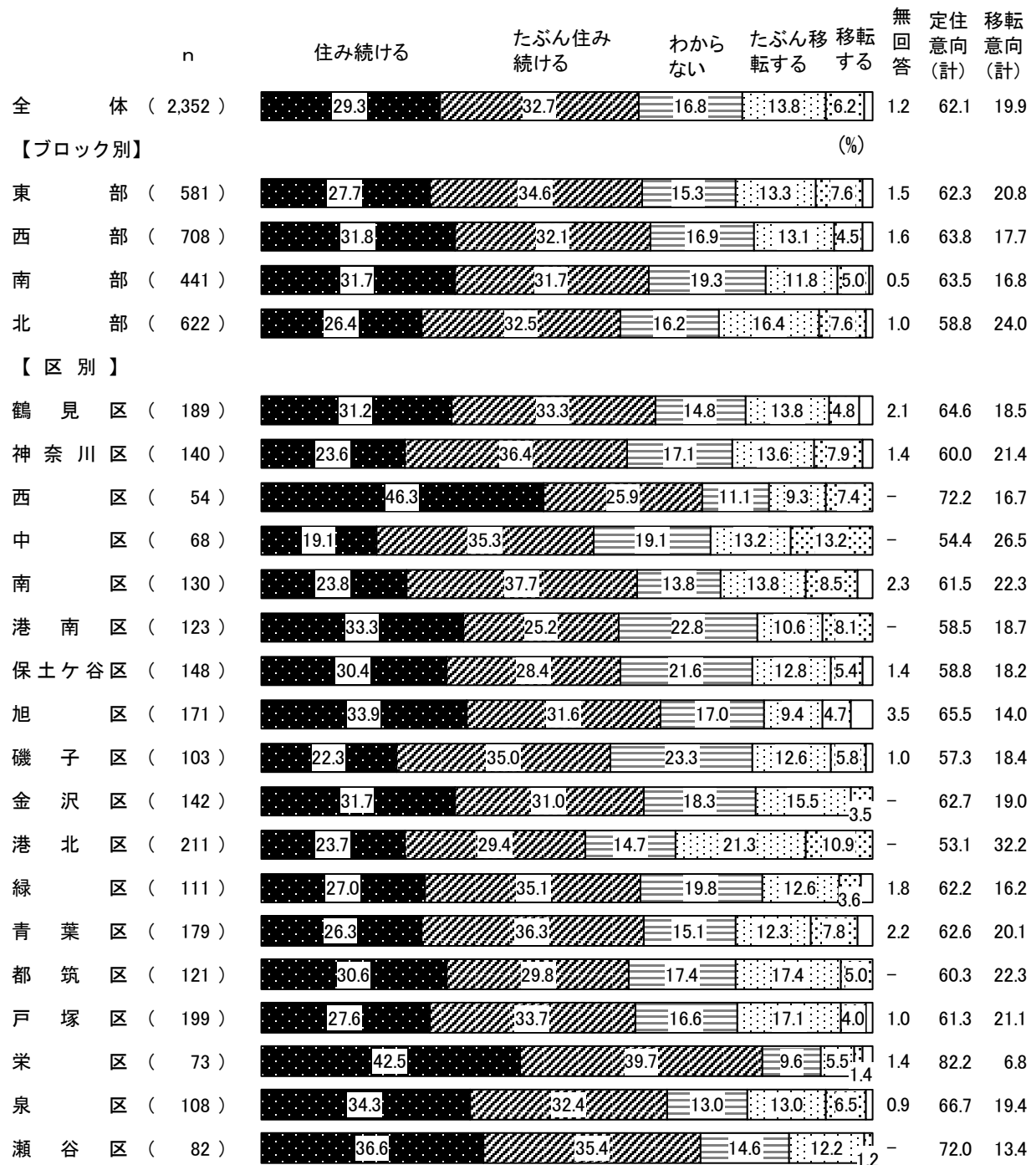
ブロック別にみると、『移転意向 (計)』は北部 (24.0%) で2割半ばと多くなっている。

②現住地定住意向 [区別]

『定住意向 (計)』は栄区で8割を超える

区別にみると、『定住意向 (計)』は栄区 (82.2%) で8割を超えて最も多くなっている。一方、『移転意向 (計)』は港北区 (32.2%) で3割を超えて多い。

図 2-4-3 現住地定住意向 [ブロック別、区別]





③現住地定住意向 [年齢別]

『定住意向 (計)』はおおむね年齢が高いほど多い

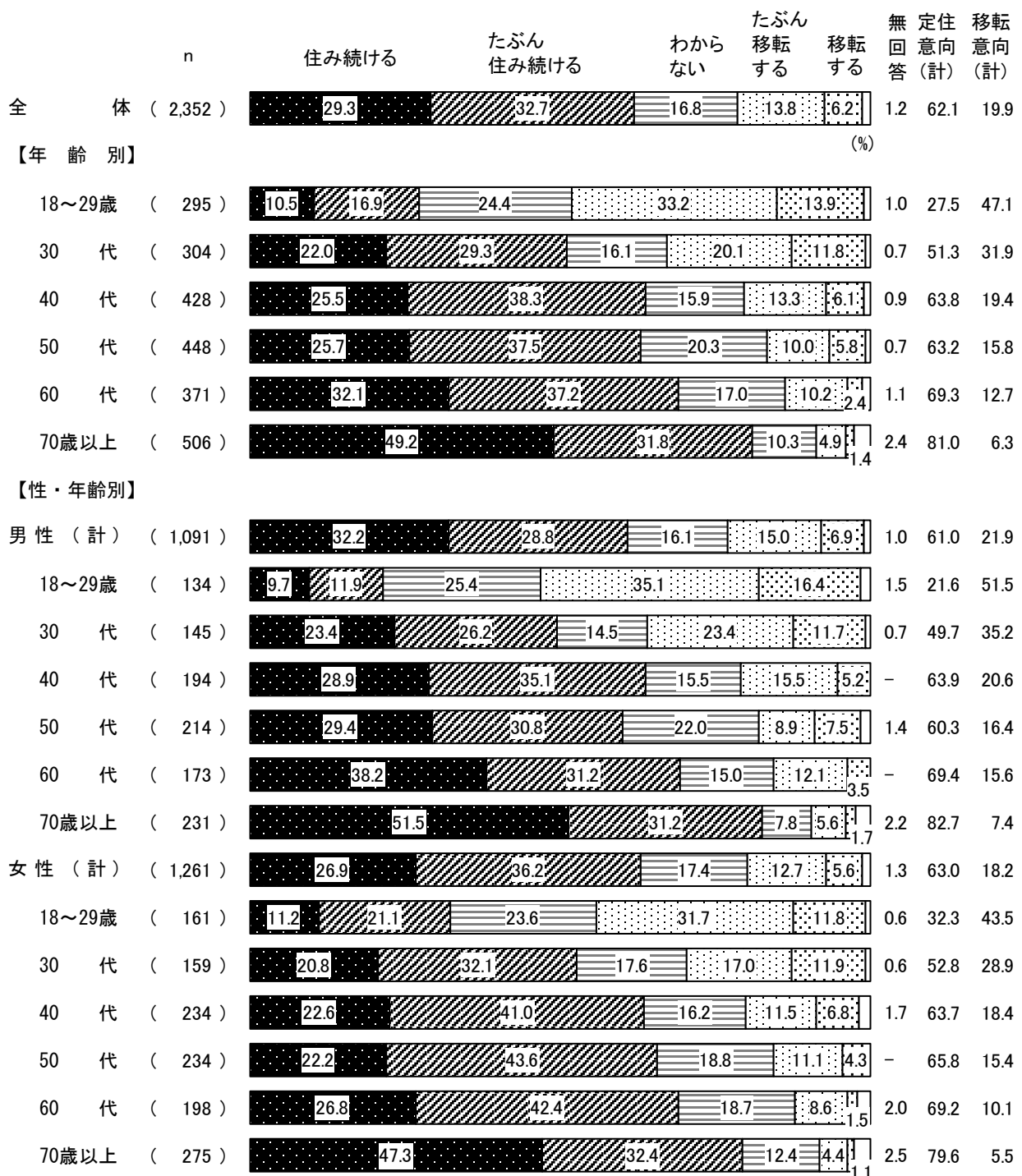
年齢別にみると、『定住意向 (計)』はおおむね年齢が高いほど多くなっている。

④現住地定住意向 [性・年齢別]

『定住意向 (計)』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、『定住意向 (計)』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多く、男女とも 70 歳以上で 8 割前後となっている。一方、『移転意向 (計)』は男性 18～29 歳 (51.5%) で 5 割を超えて多い。

図 2-4-4 現住地定住意向 [年齢別、性・年齢別]



⑤現住地定住意向 [ライフステージ別]

『定住意向 (計)』は家族成熟後期で8割

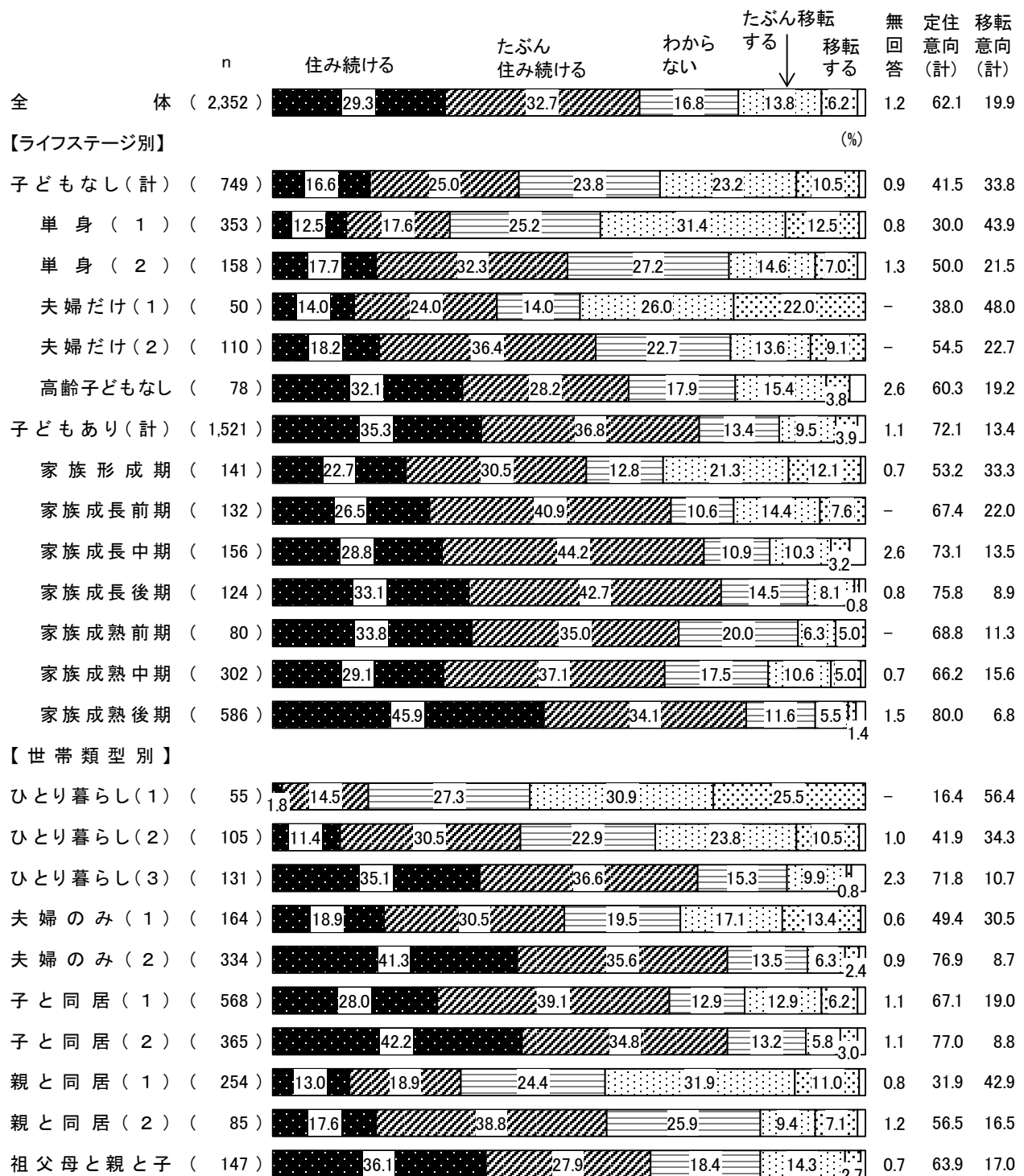
ライフステージ別にみると、『定住意向 (計)』は家族成熟後期 (80.0%) で8割と多くなっている。一方、『移転意向 (計)』は、夫婦だけ (1) (48.0%) で5割近くと多い。

⑥現住地定住意向 [世帯類型別]

『移転意向 (計)』はひとり暮らし (1) で5割半ば

世帯類型別にみると、『定住意向』は子と同居 (2) (77.0%)、夫婦のみ (2) (76.9%) で7割半ばと多くなっている。一方、『移転意向 (計)』は、ひとり暮らし (1) (56.4%) で5割半ばと多い。

図2-4-5 現住地定住意向 [ライフステージ別、世帯類型別]



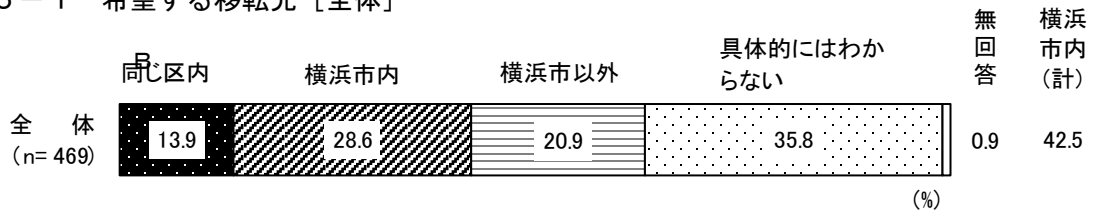
(5) 希望する移転先

(問4で「3」「4」と答えた方に)  
 問4-1 現実の問題は別として、次の移転先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』への移転意向は4割を超える

現住地から「移転する」または「たぶん移転する」と回答した人(469人)に、希望する移転先を尋ねたところ、「同じ区内」(13.9%)と「横浜市内」(28.6%)を合わせた『横浜市内(計)』(42.5%)は4割を超え、「横浜市以外」(20.9%)を上回っている。

図2-5-1 希望する移転先[全体]



(6) 市内定住意向

『市内定住意向』は7割台を維持

現住地での『定住意向』に、現住地から「移転する」または「たぶん移転する」と答えた人のうち希望する移転先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』(70.6%)は、前回調査から3.1ポイント減少したものの、7割台を維持している。

図2-6-1 市内定住意向[経年変化]

